



第三十一話

インフルエンザの予防には

健司「はくしょん」
茂子「あら風邪、大丈夫？」
美男「健司は、今年は高校受験だからなあ。風邪には気をつけんといかんぞ」
茂子「今年はインフルエンザが流行るのかしら」
美男「受験生がいるから心配だなあ」
茂子「予防接種をさせた方がいいのかしら」
毎年1〜2月に受診のピークを迎えるインフルエンザ。いきなり高熱が出て頭痛・筋肉痛・強い全身倦怠感に襲われ、気管支炎や肺炎等の合併症もまれではありません。
お子さん、受験生、お年寄りのみえるご家庭では特に注意したい病気です。

- * インフルエンザや風邪の予防策
体力のために、過労を避け、十分な栄養と睡眠をとる。
- * 感染予防のために、うがいと手洗いを励行し、なるべく人混みをさける。
- * 鼻、のどを乾燥から守るために、マスクをしたり、加湿器等で乾燥を防ぐ。
- * 抵抗力の弱い高齢者や持病のある人は感染予防のために、ワクチン接種をする。

もし、インフルエンザの予防接種を受けていけば、受けずにインフルエンザに罹患した人の70〜80%の人は、かからずに済むか、症状が軽くすむという有効性が証明されています。

今年のインフルエンザワクチンの使用ウイルス株は、昨シーズンと異なっています。ワクチンの効果が十分に現れるには2〜3週間が必要で、その効果は3〜4カ月とされているので、毎年、接種が必要です。

インフルエンザの流行期は12月から1月ですから、効果を考えると、本来は11月の接種が良いようです。接種を予定されている方は早めに接種されることをお勧めします。
健康課では、インフルエンザワクチン取扱い医療機関のお知らせなどのご相談に応じています。気軽にお電話ください。

だえん

21

性と生についての学び

最近、市内の3中学校で、「人間と性」教育研究協議会の代表幹事であり、一橋大学や早稲田大学などで性科学の講師を務めている村瀬幸浩先生による「性(エイズ)に関する講演会」が行われました。

- この講演会で、生徒は「思春期の性と生・あなたも相手も大切に」という話を聞きました。
- 思春期って大人になっていく大きな変化を迎える時期であり、体だけでなく心も大きく成長する時であるということ
- 自分の欲求を自分で管理、コントロールしていくこと
- 自分の性ときちんと向き合い、相手の人権を大切にしていこう
- 性をいい加減な雑誌からではなく、きちんと学んで考えていくこと
- エイズ感染は、若い年代でも増加していること
- などの話に、真剣な態度で聞き入っていました。

保護者は「思春期の性と生・親としてどう向き合つか」という話を聞きました。
・女の子は、自分の性に無知な面が多いからしっかり学ばせること
・男の子は性への関心が高まる時であるから、正しく学ばせ、トラブルが起きないように
・母親は、娘にきちんと寄り添い、息子は父親に任せること
・父親は、息子にとって、友達であり、兄貴であり、先輩であり、また男である存在であること
・3カ月に一度は、ドライブや釣りなどの機会をもつとよい

・思春期、親は子どもの言葉に耳を傾けることが大切である
・特に、夫婦関係が問題であり、子どもに依存しない夫婦関係を築くことが大切なこと
などの話に、「聞いて良かった」「家庭をほっとする場にしよう」「息子との距離をもう少し置こう」などの感想がありました。
家族の中で、夫は、夫婦で話を聞きあう関係が、子どもの性や生き方を方向付けていくのではないのでしょうか。

スポーツに関する意見がありました。

運動にあまり興味のない娘がその気になったので、10月7日にちゅうたいクラブの硬式テニスを申込みに行きました。

小学生の定員は15名です。なので、仕方がないかも知れませんが、8時30分前には定員になったようで、門前払いの状態です。帰ってきまして、クラブの募集の受け付けはどのようになっているのでしょうか？

(山之上町・Sさん)

プラザちゅうたいでは、子どもから高齢者までを対象に、現在、7競技種目について3カ月ごとに教室を開催いたしております。どの競技種目も希望者が多く、ご希望に添えない教室もあります。ご意見のありました、小学生の硬式テニス教室についても同様で希望者が多く、先着順に受け付けをしています。受付時間前に定員オーバーとなっているのが現状であり、ご迷惑をお

掛けたいしております。今後、指導者や会場の確保に努め、定員が増やせるような体制ができないか検討していきたいと考えております。

(体育課)

続いては、電子メールからの質問です。

国道41号バイパスは何年頃に完成予定でしょうか？また、みのかもインターチェンジは何年頃にできるのでしょうか？

(Kさん)

ご質問いただいた、国道41号バイパスの東海環状自動車道美濃加茂インターチェンジまでの区間の供用開始は平成13年の春頃を予定しております。

また、国道41号バイパスの終点であります、岐阜県川辺町までの区間については、工事完成時期などは、未定となっております。

(都市計画課)

FAXでも意見をいただきました。

ずっと気になっていたことがあり、ペンをとりました。それは「セイタカアワダチソウ」のことです。

今では、どこでも生えていて遠目には、黄色い花が群生していると、キレイに見えますが、花粉症の私にとっては、とてもやっかいで、迷惑な雑草です。家の近所にもあちこち生えていて、なるべく目につくところは抜いてますが、抜いても抜いても毎年あちこちに花を咲かせます。

草刈り機で刈っても「根」から抜かないとすぐに生えてきます。市のクリーン作戦のようにみんなで、一度に草を刈る日をつくったら、どうでしょうか。ご検討ください。

(西町・Iさん)

電話でも意見をいただきました。

「広報でも、何回か取り上げられているんですけど、私も犬の散歩をするんですけど、その散歩する道路が、完成

した当初は、きれいな道だったんですけど、最近はずつとふん害がひどくて、歩くこともできません。何とかならないでしょうか。あと、もう一つあるんですが、私の住んでいる自治会のゴミ集積場で、他人のゴミ袋を開けて、その中に自分のゴミを入れる人がいます。ゴミ袋には名前も書いてありますし、人のゴミ袋を開けるなんて、プライバシーの侵害じゃないでしょうか。

(新池町・Nさん)

あなたの身近な話題やうれしかったこと、腹がたったこと、「広報みのかも」を読んだ感想や、特集として取り上げてほしい内容など、気軽に電話やはがき、ファックスまたは電子メールでお寄せください。(広報誌上は匿名で掲載しますが、住所・氏名・電話番号は必ず、お知らせください) あなたの声をお待ちしています。
〒505-8606 美濃加茂市企画部総合政策課広報係
でんわ 0574-25-2111 (内線239・241)
FAX 0574-28-1290
Eメール kouhou@city.minokamo.gifu.jp